

令和5年度(2023年度)重点プロジェクト関連事業の概要

1. 「心豊かに・北海道暮らし」プロジェクト

長期的に続くことが見込まれる人口減少を見据え、今からその社会に適応し、その地域に住み続けられるよう、行政サービスの維持、生活インフラの確保、買い物環境の整備など、住民の「暮らし」の観点による地域づくりを進め、これまで以上の心豊かな北海道暮らしを創出する。



(1)住みよい生活環境の実現

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
子どもの権利擁護	児童相談所の一時保護等の措置に対し、こどもの権利の理解促進や意見表明を支援する体制の構築を図る。 【こどもの権利擁護体制強化事業】	10,000	新規	
子どものバクトランスファー	高度・専門医療機関で治療を受け、医学的管理の継続が必要な小児患者を対象に、地域の医療機関へ固定翼機による戻り搬送を実施。 【小児患者バクトランスファー固定翼機運航事業】	34,289	新規	
不妊治療費の助成	不妊治療を受ける方の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外となる不妊治療(先進医療)に要する費用及び交通費の一部を補助。 【不妊治療費等助成事業】	61,783	新規	
スポット支援員の配置など保育体制の強化	保育士の働きやすい職場環境を整備するため登園時の送迎対応等を行うスポット支援員の配置等に要する費用の一部を補助。 【保育緊急確保事業】	183,042	継続(拡充)	
地域の子育てを支援	市町村が実施する地域子育て支援拠点の運営などの事業に補助するとともに、放課後児童クラブ等の施設職員に対し研修を実施。 【地域子ども・子育て支援事業】	6,805,881	継続	
こどもファスト・トラックの推進	道有施設における子連れの方等に向けた優先サービスの取組を進め、市町村や民間事業者への展開拡大に向けた普及啓発を実施。 【こどもファスト・トラック推進事業(非予算事業)】		新規	
結婚・妊娠・出産・育児支援情報の総合的な発信	安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりのため、結婚・妊娠・出産・子育ての「切れ目のない支援」や、それを支える地域の環境づくりを推進。 【地域少子化対策強化事業費】	342,371	継続	
待機児童解消に向けた保育等の基盤整備	保育所・認定こども園の整備のほか、新たな子育て家庭支援のための基盤整備等を実施 【子育て支援対策事業費】	1,265,704	継続	

子育て世帯に対する経済的負担の軽減	多子世帯の経済的負担を軽減するため、第2子以降の3歳未満の乳幼児に係る保育料を無償化。 【多子世帯の保育料軽減支援事業】	1,031,766	継続	
ユースプランナー制度	大学生など若い世代の意見や感性を子育て施策へ反映させるためのユースプランナー制度を運営。 【非予算事業】		継続	
動物愛護管理センターの機能充実	道央地区に自然災害や感染症発生時におけるペット受入など多様な業務を担う基幹センターを整備。 【動物愛護管理センター施設整備】	120,000	新規	
特殊詐欺被害防止対策の強化	高齢者の特殊詐欺被害を防止するため、特殊詐欺電話体験会の開催のほか、啓発動画等による普及啓発を実施。 【特殊詐欺対策事業】	2,611	新規	
性の多様性への理解促進	性の多様性の理解促進を図るため、テレビCMのほか企業向け研修動画による普及啓発を実施。 【性の多様性理解促進事業】	3,860	新規	
津波における避難施設等整備への支援	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震への対策として、津波避難タワー等の施設を整備する市町村に対して、その費用の一部を支援。 【津波避難施設等整備特別対策事業費補助金】	33,000	新規	
地震に対する避難意識の向上	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震への避難意識の向上のため、地震の仕組み、被害想定を理解促進となる動画を作成し、研修等を実施。 【防災教育推進費】	3,750	継続 (拡充)	
高校生防災教育の推進	地域と連携した学校安全体制の構築や生徒の防災意識の向上を図るため、一日防災学校や高校生防災サミットを実施する。 【高校生防災教育推進事業】	4,416	新規	
市町村のエゾシカ捕獲対策への支援	市町村のエゾシカ捕獲事業推進のため、インセンティブ拡充によりメス捕獲比率の高い冬期捕獲を誘導し、個体数の効率的な削減を図る。 【地域づくり総合交付金】	(4,620,000千円の内数)	継続	

(2)安心できる医療・福祉の充実

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
生活に困難を抱える方への重層的な支援	社会福祉法に基づき市町村が実施する、重層的支援体制整備事業に要する費用の一部を補助。 【重層的支援体制整備事業費補助金】	56,542	新規	
生活困窮者への支援	自立相談支援機関と連携し、生活困窮者への支援を行うNPO法人等に対し、支援活動に要する費用の一部を補助。 【生活困窮者支援民間団体活動助成事業】	59,000	新規	
医療情報連携ネットワークの構築に必要な設備整備の支援	地域全体で支える体制の構築に向け、ICTを活用して診療情報を共有するほか、被災により診療情報が喪失した際にも継続的な診療を行うための設備整備を支援 【地域医療情報連携ネットワーク構築事業】	69,036	継続 (拡充)	
遠隔医療システム導入の支援	都市部の専門医が遠隔地の医師に対し、対面で指導・助言を行うための連携基盤の整備や、都市部の専門医が、遠隔地の医師に対して助言等を行ったことにより生じる逸失利益相当経費を支援。 【遠隔医療促進事業】	24,439	継続	
小児期医療から成人期医療への円滑な移行	小児慢性特定疾病患者等が小児期医療から成人期医療へ円滑に移行できるよう、「移行期医療支援センター」を設置。 【移行期医療支援体制整備事業】	3,406	新規	
緊急臨時的な医師派遣体制の整備	深刻な医師不足の状況を踏まえ、緊急臨時的な医師派遣体制を整備 【緊急臨時的医師派遣事業費】	155,741	継続	

安定的な医師の派遣体制の確保	医師不足地域に対して安定的に医師を派遣するため、医育大学と連携の上、地域医療支援センターを設置(旭医・北大委託) 【地域医療支援センター運営事業費】	184,000	継続	
医師の短期派遣による支援	ドクターバンク事業における紹介・斡旋及び登録医師の短期派遣事業の実施 【地域医師連携支援センター運営事業費】	97,233	継続 (拡充)	
障がい者ピアサポーターの養成	障がい者の雇用促進や質の高いピアサポート活動を推進するため、障がい者ピアサポーターを養成。 【障がい者ピアサポーター養成事業】	3,750	新規	
ケアラーの支援	全てのケアラーとその家族の方々が、孤立することなく安心して暮らすことができる地域社会を実現するため、普及啓発を行い理解の促進を図るとともに、ケアラーからの相談に応じる人材の育成や、支援体制を整備。 【ケアラー支援体制構築事業費、ヤングケアラー支援体制強化事業】	37,046	継続	
地震に対する避難意識の向上【再掲】	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震への避難意識の向上のため、地震の仕組み、被害想定を理解促進となる動画を作成し、研修等を実施。 【防災教育推進費】	3,750	継続 (拡充)	

(3)魅力ある教育環境の整備

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
スクール・サポート・スタッフの配置	教員が児童生徒への指導に注力できる体制を整備するため、教員の事務を補助するスクール・サポート・スタッフを小中学校等へ配置。 【スクール・サポート・スタッフ配置事業】	561,485	継続 (拡充)	
部活動の地域移行への支援	中学校における休日の部活動の地域移行に向け、市町村におけるコーディネーターの配置や協議会の設置などを実施。 【部活動の地域移行支援事業】	165,038	新規	
学力・体力向上の推進	子ども達の学力や体力向上のため、ICTを活用した授業改善について協議を実施するほか、保健体育教員への指導力強化研修等を実施。 【学力向上推進事業、体力向上推進事業】	19,905	新規	
いじめ等への総合的な対策	いじめ問題への対策を講ずるため、連絡協議会の開催や重大事案への緊急支援チームの派遣など、いじめ対策機能の充実を図る。 【いじめ等対策総合推進事業(いじめ等対策本部費)】	2,465	継続 (拡充)	
教育機関におけるICT機器の活用	道立学校に対し、機器やアプリ更新などの不具合等の相談対応等により体制整備を図るほか、センター未設置市町村に対しICT活用の体制整備を図る。 【GIGAスクール運営支援センター機能強化事業費】	20,519	継続	
遠隔授業の推進	遠隔授業の配信機能を集中化した「北海道高等学校遠隔授業配信センター」を開設し、地域連携特例校及び離島の道立高校に対し、多様な教科・科目を配信。 【遠隔授業配信センター運営費】	8,710	継続	
日本語教育の体制づくり	日本語学習意欲のある全ての外国人に日本語学習機会を提供できる体制を構築するため、地域と連携した事業を実施。 【日本語教育等による多文化共生推進事業】	7,114	新規	

(4)感染症対策の充実

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
新たな感染症への体制の構築	「北海道感染症対策連携協議会」を設置し、関係機関等と感染症対策における更なる連携の強化を図る。 【感染症対策危機管理体制基盤整備事業】	3,703	新規	

感染症への対応	新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえ、新たに外来対応を行う医療機関への設備整備や、診療に係る治療薬の公費支援を実施。 【保健所体制強化事業、感染症医療費、感染症医療提供体制整備事業、自宅療養者等支援事業】	15,802,956	継続	
---------	--	------------	----	--

(5)地域を支える交通ネットワークの構築

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
国際航空定期便就航等に向けた取組	道内空港に国際定期便を新たに就航させる航空会社に対して支援するほか、海外旅行の機運を醸成するため、道民向けに海外旅行情報を発信する。 【国際航空定期便再開促進事業、国際航空定期便就航促進事業、国際線利用促進緊急対策事業】	32,500	新規	
航空ネットワークの充実・強化	航空ネットワークの充実・強化に向け、知事等によるトップセールスを実施するほか、定期路線の新規就航等に対する支援を行う。 【新規就航誘致活動事業、道内地方空港新規路線誘致促進事業、民間委託外空港チャーター便誘致事業、道内航空需要創出広域連携事業】	52,705	新規	
域内交通の連携体制の構築	交通事業者や関係者による緩やかな連携モデルを構築し、横展開を図ることで、シームレス交通の実現に向けた検討を行う。 【域内連携型シームレス交通推進モデル事業】	2,628	継続 (拡充)	
交通ネットワークの維持確保	将来にわたり公共交通を維持していくため、市町村の範囲を越えた住民の移動実態やニーズを踏まえた上で、広域的な地域公共交通計画を策定。 【地域公共交通計画策定支援事業】	16,849	継続	
次世代型交通の推進	EVバスの実用性について評価分析するとともに、その結果を関係者で共有し市場導入に向けた検討を進める。 【次世代型交通推進事業】	5,000	新規	
地域物流の維持に向けた取組	安定的・持続的な物流の維持に向け、事業者が実施する「地域輸送拠点」整備の実証実験及び再配達削減の啓発活動に国と連携し取り組む。 【地域輸送効率化推進事業<非予算事業>】		新規	
運輸人材の確保	地域交通や物流の維持・確保のため、人材確保のPRを実施し、その効果を事業者と共有。 【運輸人材確保推進事業】	1,778	新規	

(6)広域連携等による行政サービスの最適化

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
市町村等の地域振興に対する支援	個性豊かで将来にわたり安心して暮らすことのできる地域社会の実現のため、地域の課題解決や活性化に向けた取組を支援。 【地域づくり総合交付金】	4,620,000	継続 (拡充)	
災害時の情報収集能力の強化	大規模災害発生時に関係機関が迅速・的確に災害応急対策を実施するため、災害時の情報収集能力の強化を図る。 【災害時オペレーションシステム整備】	29,921	新規	
広域連携による市町村の取組の推進	振興局主導で「広域連携推進検討会議」を開催し、市町村間の連携及び道と市町村の連携による地域課題解決の方向性を検討するとともに、「広域連携前進プラン」に基づく取組を展開 【広域連携加速化事業】	1,867	継続	
公営企業会計適用推進	人口3万人未満の市町村の簡易水道事業及び下水道事業の公営企業会計への移行を支援するため、ワークショップ型の合同研修会や個別相談会などに取り組む 【公営企業会計適用推進事業】	3,199	継続	

災害情報共有システム整備	テレビ会議システムを更新し、時間や空間に制約されずに情報共有が可能な環境を整備し、災害発生時における対災害性の向上・改善を図る 【災害情報共有システム整備費】	5,500	継続	
--------------	--	-------	----	--

(7)持続可能な地域産業の振興

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
中小企業の経営安定化のための支援	金融機関に資金を預託し、金融機関は道が定める融資条件で事業者に融資することで、中小企業者に対する円滑な融資を促進。 【中小企業総合振興資金貸付金】	322,085,000	継続	
グローバルリスク分散に向けた調査実施	国際情勢の変化に対して機動的に対応するため、グローバルリスク分散に係る調査事業を実施し、道内企業を支援。 【北海道グローバル戦略推進事業】	5,000	新規	
農業者の経営安定化に向けた支援	高騰する肥料購入費の負担を軽減するため、道内の農業者に対して化学肥料購入支援金を給付。 【肥料価格高騰緊急対策事業】	2,085,234	新規	
酪農・肉用牛経営の安定及び経営継承のための支援	酪農・肉用牛経営の安定及び円滑な経営継承のため、長期・低利の借換資金の融通を行う融資機関に利子補給を実施。(融資枠20億円) 【農業金融対策推進費(畜産特別支援資金融通事業利子補給費補助金)】	12,693	継続 (拡充)	
農業経営の近代化に向けた支援	融資機関が行う長期・低利な施設整備資金等の融通を円滑にするため、利子補給を行い農業経営の近代化を図る。(融資枠40億円) 【農業金融対策推進費(農業近代化資金利子補給金)】	157,173	継続 (拡充)	

2. 「磨き高め輝く・北海道価値」プロジェクト

北海道が世界に誇る価値・魅力である食や観光は、更なる創意と工夫で、一層の高みに押し上げられる潜在力を有している。また、本道には豊かな再生可能エネルギーや広大な森林もあり、これら貴重な資源を磨き、しごとを創造し稼ぐ力を高め、本道経済を力強く輝かせる取組を進める。

ビッグプロジェクトが続く北海道が迎えるチャンスを活かした施策展開

「観光立国北海道」の再構築

- 新北海道スタイルの徹底などによる安全・安心の提供
- 環境と共生する観光の推進
- 富裕層向け商品・サービスの充実による質の向上
- 道民による道内の魅力再発見、国内旅行の需要喚起
- デジタル技術を活用した高い国際競争力を持った観光地づくりの推進
- 滞在型観光の推進
- 災害時の安全・安心に資する基盤の強化 等

魅力ある食の国内外への展開

- 安定的な生産・供給体制の整備
- ターゲットを定めた輸出品目の拡大・差別化
- 北海道ブランドの浸透と市場拡大
- 地域の食資源を活かした食関連企業の誘致 等

一次産業の持続的成長

- 環境変化に対応した一次産業の振興
- 安定供給や消費拡大、高付加価値化に向けた取組推進 等

優位性を活かした産業の創造

- 航空宇宙分野への参入促進や新たなビジネスの創出
- 次世代自動車等関連ビジネスや自動運転の研究開発拠点化の促進
- リスク分散先、新しい働き方の適地としての強み・潜在力を活かした投資促進・企業誘致
- 本道のポテンシャルを活かした健康長寿関連産業の集積
- 自然エネルギーを活かしたデータセンターの誘致 等

**しごとを創造
力強い経済**



■提供：インターステラテクノロジズ

(1) 「観光立国北海道」の再構築

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
アドベンチャートラベル・ワールドサミット2023開催	「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本」の開催に係る経費を負担。 【アドベンチャートラベル・ワールドサミット2023開催推進費】	49,750	継続 (拡充)	
観光人材の確保・育成	北海道観光の受入体制整備を推進するため、セミナーや研修会を実施し、観光人材の確保や育成を図る。 【観光人材確保・育成事業】	44,330	新規	
新たな観光ガイド制度の実現に向けた環境整備	海外富裕層のニーズに対応した環境整備や、道ATガイド制度の運営等を実施。 【新しいガイド制度の実現に向けた環境整備事業】	28,878	新規	
観光人材の確保	海外富裕層が求める高付加価値旅行に対応できる人材等を確保するための研修等を実施。 【ATを活用した北海道観光の高付加価値化推進事業】	31,846	新規	
観光コンテンツの高付加価値化に向けた取組の推進	インバウンド回復の好機を捉え、ワイン・ケア等の多様なニーズに対応する旅行商品のマーケティング調査やプロモーションを実施。 【テーマ別観光推進事業】	56,756	新規	・デジタル田園都市国家構想交付金(推進タイプ)
ハワイ州との交流促進	ハワイ州での「日本・ハワイ姉妹州・姉妹都市サミット」に参加し、交流促進を図り、北海道の魅力発信に向けたトップセールスを実施。 【日本・ハワイ姉妹州・姉妹都市サミット事業】	8,826	新規	
国内外からの誘客促進	道外・海外観光客の誘致、アウトバウンド送客等の国際交流促進のため、旅行事業者・メディアへの情報発信やプロモーションを実施。 【インバウンド再興事業、誘客促進強化事業】	557,785	新規	
野幌森林公園エリアの機能強化や魅力向上	野幌森林公園エリア活性化のため、道立総合博物館を拠点施設として位置付けし、Wi-Fi整備や展示解説の多言語化などを実施。 【野幌森林公園エリア活性化・拠点化事業】	19,523	継続 (拡充)	

外国人に向けた北海道の魅力発信	関係人口拡大や定住促進のため、海外インフルエンサー等を活用し北海道の魅力を全世界へ発信。 【外国人に選ばれる北海道の魅力発信事業】	2,000	新規	
-----------------	--	-------	----	--

(2)魅力ある食の国内外への展開

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
食の海外販路拡大の推進	海外販路拡大・ブランド力強化のため、シンガポール、タイの百貨店と連携して開催する北海道フェアへの参加支援やブース出店を実施。 【食の海外販路拡大事業】	66,452	新規	
エゾシカ肉の流通拡大	道認証エゾシカ肉の流通拡大のため、高品質化に向けた調査・検証及び品質管理体制の構築や、小売業者向けジビエツアーの開催を実施。 【エゾシカ肉品質向上・流通拡大推進事業】	10,085	新規	・デジタル田園都市国家構想交付金(推進タイプ)
道産農産物の需要喚起対策	にんにくやさつまいも、落花生の高付加価値化と需要拡大のため生産者と飲食・加工業者のマッチング機会創出や消費拡大フェアを実施。 【道産農産物等需要喚起対策事業】	5,960	新規	
道産水産物の需要拡大の推進	近年漁獲量が増加している魚種の安定的な市場の確立のため、道内飲食店と連携したフェア等による需要拡大に取り組む。 【道産水産物需要拡大事業】	13,423	継続(拡充)	・デジタル田園都市国家構想交付金(推進タイプ)
道産水産物の輸出拡大の推進	水産物輸出促進のため、ホタテや秋サケ等の輸出先国拡大に向けたPRや、米国向けカレイ類新製品の販促キャンペーンを実施。 【道産水産物輸出拡大推進事業】	43,139	継続(拡充)	・デジタル田園都市国家構想交付金(推進タイプ)
道産農畜産物の輸出拡大の推進	道産農畜産物の輸出拡大に向け、商流の拡大、有望市場の開拓及び家庭食需要に対応した販路を確保するための取組等を実施。 【道産農畜産物輸出総合対策事業】	45,200	継続	
食の販路拡大の推進	首都圏におけるアンテナショップとしてJR有楽町駅近傍の東京交通会館に、「北海道どさんこプラザ有楽町店」を設置。 【道産品販路拡大促進費(北海道物産観光展示所運営費)】	46,120	継続	
食育の推進	食品ロスの削減のため家庭や外食での食べ残しを減らすなど、道民運動として総合的な食育の取組を実施。 【どさんこ食育推進事業】	40,045	継続	
魚食機会の普及・拡大	道産魚介類の消費拡大を図るため、学校給食や介護食、病院食への導入や生活スタイルの多様化に合わせた商品開発の取組を支援。 【道産水産物魚食普及推進事業】	4,300	継続	

(3)一次産業の持続的成長

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
北海道米の消費拡大と新たな利用の促進	北海道米の更なる消費拡大に向けた取組、直播向け品種や新たな省力化技術等の導入、米粉の利用拡大の取組を推進。 【ごはん食拡大・米産地づくり推進事業、米粉利用拡大対策推進事業】	7,754	継続	
麦・大豆の国産化の推進	産地と実需が連携して行う麦・大豆の国産化推進のため、ブロックローテーションや営農技術の導入等による生産性向上や増産を支援。 【麦・大豆生産技術向上事業】	4,922,782	継続	
スマート農業技術の導入支援	スマート農業技術の導入と全道への普及拡大のため、実証成果や活用事例の情報共有、地域の専門人材の育成、先端技術の導入を支援。 【スマート農業推進事業】	8,141	継続(拡充)	・デジタル田園都市国家構想交付金(推進タイプ)

スマート林業の地域実装の推進	森林施業のさらなる効率化のため、スマート林業の技術を活用できる人材の育成や、機器の導入支援、実演会等を実施する。 【スマート林業実装推進事業】	71,160	新規	
北海道和牛ブランド力の強化	北海道和牛のブランドの確立と競争力強化のため、トップエリート牛群の早期造成や特色ある種雄牛の作出、飼養技術向上などに取り組む。 【北海道和牛ブランド創出推進事業、北海道和牛繁殖基盤造成事業、国際貿易協定に対応した道産牛肉生産強化・消費拡大事業】	7,087	継続	
ゲノミック評価技術を活用した乳牛改良の普及	酪農家の経営体質強化のため、ゲノミック評価技術を活用した乳牛改良の普及に向けて、モデル農家による実践等を支援。 【経営体質強化に向けた牛群改良加速化事業】	38,238	新規	
産地の収益力強化と持続的な発展	産地競争力の強化や産地合理化の促進のために必要な施設等の整備を支援。 【強い農業づくり事業】	1,971,349	継続	
ワイン用ぶどうの生産力向上	ワイン用ぶどうの生産量増加や品質の安定化を図るため、せん定技術に係る講習会等を実施。 【ワイン用ぶどう生産力向上推進事業】	1,985	継続	・デジタル田園都市国家構想交付金(推進タイプ)
ICT技術等を活用したコンブの生産体制の検討	ドローンによる空撮画像の解析技術の精度向上、低利用コンブ種等の活用に向けたニーズ調査や生産体制の検討等に取り組む。 【ICT技術等を活用したコンブ生産増大対策事業】	9,515	継続(拡充)	・デジタル田園都市国家構想交付金(推進タイプ)
新たな養殖手法の検討・実証	計画的・安定的な生産体制の構築を図るため新たな養殖展開に向けた検討会の開催やサクラマス・ナマコ・ウニの養殖手法の実証を行う。 【新たな養殖業推進事業】	15,310	継続(拡充)	・デジタル田園都市国家構想交付金(推進タイプ)
全国豊かな海づくり大会の開催	水産資源の保護や増殖、漁場の環境保全に対する意識の高揚等を図るため、令和5年9月に「全国豊かな海づくり大会」を開催。 【全国豊かな海づくり大会開催事業・海づくり大会警備費】	369,981	継続(拡充)	
道産建築材の活用促進	道産建築材の需要拡大を図るため、モデル的な木造民間施設の整備への支援を実施する。 【道産建築材活用促進事業】	44,500	新規	
「HOKKAIDO WOOD」の活用促進	道産木材「HOKKAIDO WOOD」の利用促進に向けて、国内外の展示会などでのPR活動や、木造建築物の設計・施工技術者等の育成に取り組む。 【HOKKAIDO WOOD 推進事業】	33,204	継続	
企業と連携した森林づくりの推進	CSR活動等として森林づくりを希望する民間企業等とフィールド提供を希望する市町村等の森林所有者とのマッチングを促進する。 【ほっかいどう企業の森林づくり推進事業】	13,726	継続(拡充)	
クリーンラーチの幼苗安定確保と供給拡大	二酸化炭素吸収能力や成長に優れたクリーンラーチの種子と苗木の早期増産体制を構築。 【クリーンラーチ苗木早期増産対策事業、クリーンラーチ幼苗安定確保対策事業】	22,520	新規 継続(拡充)	
漁業系廃棄物のリサイクル促進	漁業における温室効果ガスの発生抑制などカーボンニュートラルを推進するため、ロープなど漁業系廃棄物のリサイクルの取組を支援。 【漁業系廃棄物リサイクル促進事業】	9,500	継続(拡充)	
ブルーカーボンに関する取組の推進	環境と調和した水産業の構築のため、藻場保全活動を通じたクレジット取得に係る検討や普及啓発などに取り組む。 【北海道ブルーカーボン推進事業】	10,732	新規	
災害に強い酪農環境の構築	酪農経営における「災害における酪農危機管理対策マニュアル」を映像化することで、新規就農者の意識向上を図るとともに、安心して酪農を続けられる環境を構築。 【持続可能な酪農の就農サポート環境構築事業費】	1,000	継続	

農業分野における脱炭素化の推進	J-クレジットの認証取得促進に向けたモデル実証や温室効果ガスの排出を削減して生産した農産物の認知度向上等の取組を実施。 【道産農産物等温室効果ガス削減加速化事業】	1,773	新規	
環境負荷軽減と持続的な食料システムの推進	みどりの食料システム戦略を推進するための体制を整備し、有機農業の産地づくり等の取組を支援する。 【みどりの食料システム戦略推進総合対策事業】	138,000	継続	
環境保全型農業の取組拡大	化学肥料や化学合成農薬の使用を必要最小限にとどめるクリーン農業や有機農業などの取組拡大を図るため、流通・販売の拡大に取り組む。 【環境保全型農業直接支援対策事業、オーガニック農業普及・販路拡大推進事業、持続可能な農を支えるクリーン農業促進事業】	1,081,469	継続	

(4)優位性を活かした産業の創造

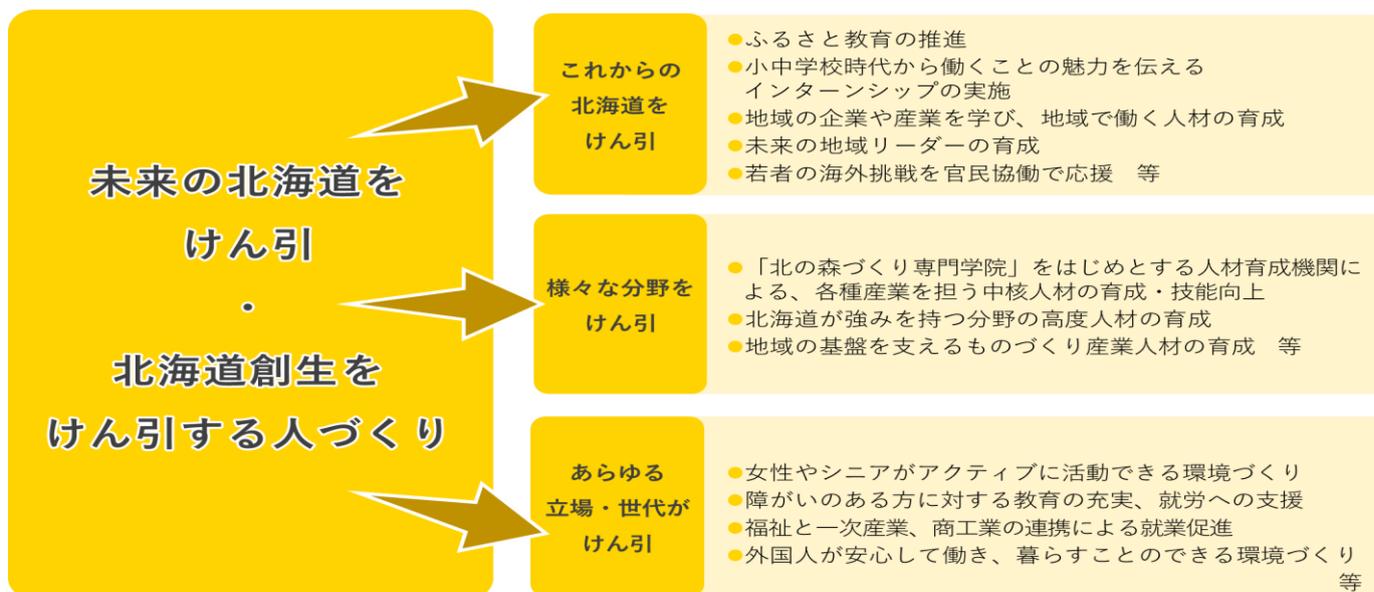
施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
次世代半導体関連産業の集積促進	次世代半導体製造拠点の整備に向けた支援や関連産業等の集積促進に向けた取組を推進する。 【次世代半導体産業集積促進事業】	120,990	新規	
北海道地球温暖化防止対策基金の設置	ゼロカーボン北海道の実現を図るために必要な事業に中長期的に取り組むため、北海道地球温暖化防止対策基金を設置。 【北海道地球温暖化防止対策基金積立金】	10,001,563	新規	
道内産業界のカーボンニュートラルの促進	道内産業界のカーボンニュートラルの促進に向け、モデルプランを活用した企業独自のカーボンニュートラル化プラン作成を支援する。 【カーボンニュートラルファーストステップ支援事業】	22,655	継続 (拡充)	
地域における新エネルギー導入の加速	新エネルギー導入の一層の加速を図るため、地域が主体となって行う新エネルギー導入等を支援する。 【新エネルギー設備等導入支援事業】	550,000	継続 (拡充)	
水素関連産業の基盤形成の促進	水素関連産業の基盤形成を図るため、水素サプライチェーンプロジェクト構築や道内企業の水素ビジネス参入に向けた支援に取り組む。 【水素サプライチェーン構築促進事業】	23,644	継続 (拡充)	
洋上風力発電のサプライチェーン構築	洋上風力発電のサプライチェーン構築に向けた事業分野調査や人材確保への支援に取り組む。 【洋上風力発電サプライチェーン構築・人材確保支援事業】	30,735	新規	
地域脱炭素化に向けた支援	地域の脱炭素に係る取組の広がりや加速化を図るため、それぞれの地域の脱炭素へ向けた取組の状況に応じた支援に取り組む。 【地域脱炭素推進支援事業】	30,126	新規	
事業者による脱炭素化の取組の促進	北海道地球温暖化防止対策条例の改正に伴い、事業者等の脱炭素意識向上のためのセミナー等を行い、脱炭素への取組を支援。 【脱炭素型ビジネススタイル転換促進事業】	26,600	新規	
空港脱炭素化推進計画の策定	道管理空港における「空港脱炭素化推進計画」を策定するための事業を実施。 【空港脱炭素化推進計画策定事業】	55,030	新規	
道有施設・設備等の脱炭素化の推進	太陽光発電設備や電気自動車の導入、照明・信号機のLED化、道管理空港のLED化に向けた保守品の整備等、道有施設設備の脱炭素化を推進。 【道の率先行動推進事業、道有施設照明LED化事業、空港単独事業】	781,040	継続 (拡充) 新規	
道民・事業者への普及啓発	道民・市町村に対し、ゼロカーボン北海道の認知度向上や理解促進のための普及啓発を行い、脱炭素意識向上と行動変容を図る。 【ゼロカーボン北海道普及推進事業】	32,446	新規	
省エネ・ゼロカーボンのデータセンターの誘致	冷涼な気候や豊富な再エネを活用した、省エネ・ゼロカーボンのデータセンターの本道への誘致を展開。 【データセンター集積推進事業費】	29,441	継続	

企業の立地への支援	企業立地の促進を図るため、本道に工場・設備等の新設・増設をしようとする事業者を支援する。 【企業立地促進費補助金】	1,521,284	継続	
海外からの投資誘致促進	本道の優位性のある産業や成長分野を対象に、投資家の招へいやプロモーション、商談支援等により海外投資を全道に誘致。 【海外からの投資誘致促進事業】	22,295	新規	
本道への本社機能移転の誘致促進	企業と地域の自治体・大学等の連携を促進させ、デジタル関連産業などの開発拠点や本社機能の移転に向けた誘致活動を実施。 【地域連携型拠点誘致推進事業】	7,999	新規	
自動運転車開発拠点化促進事業	自動運転車の積雪寒冷期を含む実証実験や国の社会実証事業の誘致など道内企業の参入促進や開発拠点の誘致に取り組む。 【自動運転車開発拠点化推進事業】	6,336	継続	
宇宙ビジネスの創出と産業化の促進	本道における宇宙関連ビジネスの更なる加速化の観点から、推進体制の整備や人材確保支援を行い、宇宙関連産業の成長産業化を目指す。 【宇宙関連ビジネス加速化プロジェクト推進事業】	6,655	新規	
スタートアップの創出・集積	スタートアップ・エコシステムの拡大・強化のため、起業家の育成・伴走支援・誘致・定着の促進などに取り組み、スタートアップの創出・集積を図る。 【スタートアップ創出・集積促進事業】	50,000	新規	
札幌市と連携した海外展開	道と市が連携し、セミナー開催や海外展示会への出展を通じ、道産食品や道内企業が有する技術・サービス等の海外展開を支援。 【道市連携海外展開推進事業】	17,300	新規	
住宅分野等における脱炭素化の推進	ゼロカーボン北海道の実現に向けた省エネ住宅の取得・改修等や集会場等の省エネ改修等への支援を行う。 【住まいのゼロカーボン化推進事業】	141,000	新規	
森林由来クレジットの創出	市町村による森林由来クレジットの創出支援や航空レーザ測量を活用した大規模な創出実証等により、森林整備の促進を図る。 【森林由来クレジット創出促進事業】	21,127	新規	
ウポポイなどを通じたアイヌ文化の魅力発信	アイヌ文化の魅力発信やウポポイなど各地域のアイヌ文化施設への来訪促進に向けて、新たな関心層の発掘やPRイベントを道内外で実施。 【ウポポイ・アイヌ文化関連施設等魅力発信事業、アイヌ文化地域振興支援事業】	45,150	継続 新規	
アイヌ伝統文化の発信・継承	道内各地域の特色あるアイヌ舞踊やアイヌ工芸品製作の魅力発信を行うことで、伝統技術の保存や伝承を行う各世代の担い手を育成。 【アイヌ文化パフォーマンス発信事業、アイヌ工芸品販路拡大・担い手育成推進事業】	54,850	継続 (拡充)	
アイヌの方々の生活実態調査	今後のアイヌ施策のあり方を検討するために必要な基礎資料を得るため、本道におけるアイヌの人たちの生活実態の調査を行う。 【アイヌ生活実態調査費】	9,118	新規	
知事公館・近代美術館エリアの活用策検討	道民・専門家の意見をふまえ、知事公館や近代美術館を含めたエリア全体の活用策を検討。 【知事公館・近代美術館エリア活用検討事業】	14,875	新規	
北海道遺産や日本遺産等の地域資源の活用促進	北海道遺産や日本遺産を活用した体験型イベントを開催し、魅力や価値を発信し、地域の活性化を図る。 【地域資源を活用した魅力体験創出事業】	2,920	新規	

縄文世界遺産の活用推進と魅力発信	北海道・北東北の縄文遺跡群の適切な保存と活用推進のため、周遊促進や遺跡ガイド育成による受入体制強化など、価値を広く発信する。 【縄文世界遺産活用推進強化費】	53,542	継続 (拡充)	
まんがやアニメなどのメディア芸術の振興	本道のメディア芸術振興のため、まんがやアニメの作品を発表する機会として、新たに「北のアニメ大賞」を開催。 【地域メディア芸術推進事業】	2,072	継続 (拡充)	
地域に根ざした政策の展開	総合振興局・振興局が地域と連携の下、地域に根ざした政策を企画・立案・実施。 【地域政策推進事業】	278,125	継続 (拡充)	
市町村等の地域振興に対する支援【再掲】	個性豊かで将来にわたり安心して暮らすことのできる地域社会の実現のため、地域の課題解決や活性化に向けた取組を支援。 【地域づくり総合交付金】	4,620,000	継続 (拡充)	

3. 「未来をけん引・北海道人」プロジェクト

北海道創生は息の長い取組であり、当面の取組はもちろんのこと、中長期的にこれを支える人材の育成が重要である。未来の北海道を創造する広い視野と挑戦への意欲・熱意を備える人づくり、人生100年時代を見据え、あらゆる立場・世代の人づくりを進める。



(1)これからの北海道をけん引

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
北方領土問題の理解促進	北方領土問題への若年層の理解促進を図るため、道内の中学生を対象とした「北方領土中学生作文コンテスト」を実施。 【北方領土中学生作文コンテスト実施事業】	3,747	新規	
スポーツの振興による健やかな人と社会づくり	スポーツを通じた持続可能な社会の実現に向けて、スポーツ参加機運醸成イベントの開催や総合型地域スポーツクラブの設置を促進。 【スポーツをする・みる・ささえる促進事業】	16,000	継続(拡充)	
国民スポーツ大会冬季大会の開催	令和6年1月から開催される第78回国民スポーツ大会冬季大会の開催費を補助。 【第78回国民スポーツ大会冬季大会開催費補助金】	87,594	新規	
ウポポイなどを通じたアイヌ文化の魅力発信【再掲】	アイヌ文化の魅力発信やウポポイなど各地域のアイヌ文化施設への来訪促進に向けて、新たな関心層の発掘やPRイベントを道内外で実施。 【ウポポイ・アイヌ文化関連施設等魅力発信事業、アイヌ文化地域振興支援事業】	45,150	継続 新規	
アイヌ伝統文化の発信・継承【再掲】	道内各地域の特色あるアイヌ舞踊やアイヌ工芸品製作の魅力発信を行うことで、伝統技術の保存や伝承を行う各世代の担い手を育成。 【アイヌ文化パフォーマンス発信事業、アイヌ工芸品販路拡大・担い手育成推進事業】	54,850	継続 (拡充)	
地学協働活動の推進	地域の将来を支える人材の育成・定着に向け、学校と地域とをつなぐ地域に精通した専門人材を配置することにより、学校と地域の連携・協働体制を構築。 【地学協働活動推進実証事業費】	5,370	継続	
将来を担う若者への支援	若者の海外留学や、スポーツ指導者、芸術家、職人を目指して海外で資質向上に取り組む挑戦を、「ほっかいどう未来チャレンジ基金」により支援。 【北海道未来人財応援事業】	28,853	継続	
北海道遺産や日本遺産等の地域資源の活用促進【再掲】	北海道遺産や日本遺産を活用した体験型イベントを開催し、魅力や価値を発信し、地域の活性化を図る。 【地域資源を活用した魅力体験創出事業】	2,920	新規	

(2)様々な分野をけん引

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
先端的産業分野における人材確保・人材育成への支援	先端的産業分野のデジタル化推進による生産性向上のため、戦略的雇用創造分野における産業振興と雇用施策の一体的な取組を実施。 【地域活性化雇用創造プロジェクト(先端的産業分野分)】	118,085	継続	
地域産業における人材確保・人材育成への支援	地域産業を支える労働力の確保のため、戦略的雇用創造分野における産業振興と雇用施策の一体的な取組を実施。 【地域活性化雇用創造プロジェクト(地域産業分)】	254,261	継続	
運輸人材の確保【再掲】	地域交通や物流の維持・確保のため、人材確保のPRを実施し、その効果を事業者と共有。 【運輸人材確保推進事業】	1,778	新規	
林業・木材産業の人材育成	北の森づくり専門学院において、林業・木材産業の即戦力となり、将来的に企業等の中核を担う地域に根差した人材を育成する。 【北の森づくり専門学院管理費】	155,237	継続	
学生に対する航空関連業務の認知度向上	航空地上支援業務(グランドハンドリング)人材の認知度向上や職業観形成のため、高校生までを対象とした航空教室等の実施を支援。 【航空地上支援業務普及啓発事業】	2,865	新規	
観光人材の確保	海外富裕層が求める高付加価値旅行に対応できる人材等を確保するための研修等を実施。 【ATを活用した北海道観光の高付加価値化推進事業】	31,846	新規	
木育の推進	教育機関等と連携した木育教室や企業と連携した木育マイスターの活動支援、「北海道植樹の日・育樹の日」の普及啓発などに取り組む。 【「北海道のmokuiku(木育)」推進事業、北海道植樹の日・育樹の日推進事業】	19,237	継続	・企業版ふるさと納税
観光人材の確保・育成【再掲】	北海道観光の受入体制整備を推進するため、セミナーや研修会を実施し、観光人材の確保や育成を図る。 【観光人材確保・育成事業】	44,330	新規	
建設産業の担い手確保	担い手の確保・育成への取組を支援するとともに、建設産業団体や教育機関と連携し、建設産業における担い手対策を実施。 【建設業経営体質強化対策事業費(建設業担い手対策推進事業費)】	14,965	継続	
漁業の新規就業の促進や就労安定	漁業の新規就業の促進や就労安定を図るため、北海道漁業支援協議会が実施する担い手確保・育成対策を支援。 【漁業就業促進事業】	3,655	継続	
林業従事者の確保・育成	北海道森林整備担い手支援センター等と連携し、林業従事者の確保、技術技能の向上、安全衛生対策や福利厚生の充実等に取り組む。 【森林整備担い手対策推進費】	105,480	継続	
農業における企業の参入・定着の促進	企業の農業参入と定着に向け、相談体制の強化やフェア出展、動画作成を通じた本道農業の魅力発信及び参入事例の周知に取り組む。 【地域農業と企業との連携強化サポート事業】	2,071	継続(拡充)	・デジタル田園都市国家構想交付金(推進タイプ)

農業の担い手確保・育成	本道農業を担う多様な担い手の育成・確保を図るため、意欲と能力のある新規就農者の確保に向けた対策に取り組む。 【担い手育成総合推進事業】	1,819,987	継続	
産業人材の育成	農林水産業やものづくり分野等において、専門的知識・技術を習得した即戦力人材を育成する。 【北の森づくり専門学院管理費(再掲)、技術専門学院等管理費、農業大学校管理費、漁業研修所維持管理費・事業費】	735,112	継続	
地域企業の先端技術人材確保・育成等支援	IoT、ロボティクス等の先端技術を有する人材の確保、育成及び職場定着のため、専門人材の育成研修により地域企業の技術力向上を図る。 【地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業】	48,800	継続	

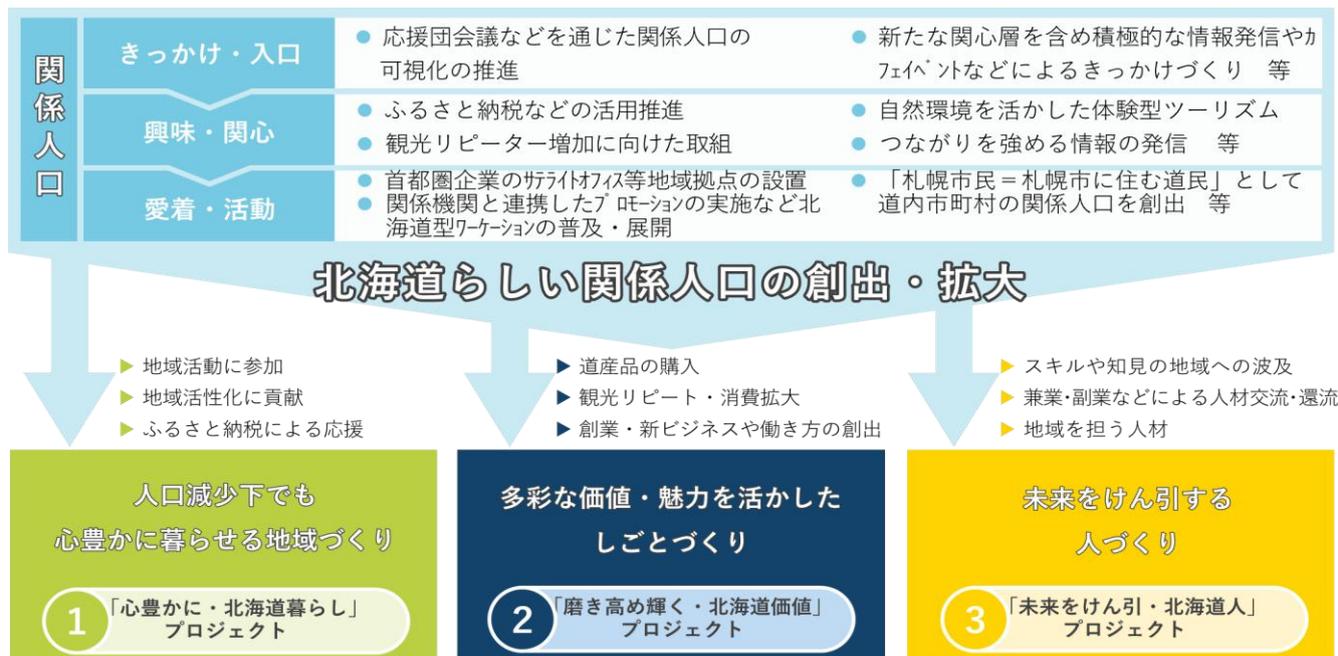
(3)あらゆる立場・世代がけん引

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
農業分野における多様な人材の受入推進	多様な人材の受入に向け、働きやすい職場環境づくりの推進及び農福連携専門人材の育成と農業現場への派遣を実施。 【多様な雇用人材受入推進事業、農福連携推進事業】	5,002	継続 (拡充)	・デジタル田園都市国家構想交付金(推進タイプ)
多様な人材の活躍促進	女性、高齢者、障がい者といった潜在的労働力の掘り起こしを行うとともに、中小企業の就業環境整備を支援することにより、道内の新規就業を促進。 【潜在人材掘り起こし推進事業】	10,901	継続	
誰もが働きやすい環境づくり	仕事と家庭の両立ができる職場環境の整備を含めた働き方改革の推進のため、関係法令や制度の普及啓発を実施。 【誰もが働きやすい職場環境づくり事業費】	429	継続	
雇用の質の向上	非正規雇用労働者の処遇を改善するため、従業員の正規化や最低賃金の引き上げ、同一労働同一賃金への対応といった事業者への専門家による個別支援を実施。 【非正規雇用労働者処遇改善支援事業】	13,879	継続	
地域の担い手確保	地域産業を支える労働力の確保に向け、北海道の戦略的産業分野の人材確保・定着を支援し、良質で安定的な正社員等雇用の創出・定着を図る。 【戦略産業人材確保・定着支援事業】	19,847	継続	
就職氷河期世代への支援	就職氷河期世代の持つ様々なニーズや課題に対し、専門の相談員による個別出張面談、企業相談会の開催等を実施し、就職の促進を図る。 【就職氷河期世代就業支援促進事業】	7,737	新規	
外国人に向けた北海道の魅力発信【再掲】	関係人口拡大や定住促進のため、海外インフルエンサー等を活用し北海道の魅力を全世界へ発信。 【外国人に選ばれる北海道の魅力発信事業】	2,000	新規	
日本語教育の体制づくり【再掲】	日本語学習意欲のある全ての外国人に日本語学習機会を提供できる体制を構築するため、地域と連携した事業を実施。 【日本語教育等による多文化共生推進事業】	7,114	新規	
高校生の就職促進	高校生の勤労観・職業観の育成や就職対策の充実を図るため、進路相談員の配置のほか、インターンシップや事業所訪問を実施。 【新規学卒者就職対策推進費】	49,001	継続	

<p>地域おこし協力隊へのサポートの強化</p>	<p>地域おこし協力隊サポート推進室を設置し、募集PRの強化や隊員のスキルアップ研修会、起業・就業セミナー開催等のサポートを実施。 【地域おこし協力隊支援パッケージ事業】</p>	<p>25,000</p>	<p>新規</p>	
--------------------------	---	---------------	-----------	--

4. 「北海道らしい関係人口の創出・拡大」プロジェクト

道内を何度も訪れる多くの観光客、盛況を博す北海道物産展、ふるさと納税を通じた多くのご支援など、北海道への関心・愛着・想いは、急速に人口減少が進む本道において、大きな力となっている。こうした北海道への想いをしっかりと受け止め、暮らし・経済・人づくりの効果を高める力となるよう、北海道らしい関係人口の創出・拡大に向けた取組を進める。



(1)北海道らしい関係人口の創出・拡大(きっかけ・入口)

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
「ほっかいどう応援団会議」のネットワーク活用	「ほっかいどう応援団会議」のネットワークを活用し、道及び市町村への「支援」の獲得に向けた取組を推進。 【ほっかいどう応援団会議運営事業】	33,700	継続(拡充)	
移住促進プロモーションの展開	首都圏の若年層を対象に、北海道のプロモーションを実施することで、北海道への移住の促進を図る。 【北海道移住促進プロモーション事業】	15,316	新規	
外国人に向けた北海道の魅力発信【再掲】	関係人口拡大や定住促進のため、海外インフルエンサー等を活用し北海道の魅力を全世界へ発信。 【外国人に選ばれる北海道の魅力発信事業】	2,000	新規	
北海道型ワーケーションの推進	「北海道型ワーケーション」の更なる推進により、関係人口を創出・拡大するため、道外企業向けプロモーション活動に取り組む。 【北海道型ワーケーション推進事業】	10,523	新規	・デジタル田園都市国家構想交付金(推進タイプ)

(2)北海道らしい関係人口の創出・拡大(興味・関心)

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
仮想空間を活用した関係人口の創出・拡大	関係人口の創出・拡大を図るため、仮想空間上のオンラインサロンを開催し、地域と都会の人がカジュアルにつながるきっかけを創出。 【Connect北海道推進事業】	5,593	新規	
農村ツーリズムの受入体制整備	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農村ツーリズムの受入体制強化のため、意欲向上を図る研修会開催などの取組を推進。 【農村ツーリズム再生事業】	3,584	継続(拡充)	・デジタル田園都市国家構想交付金(推進タイプ)

民間資金を活用した道立学校における取組の充実	ふるさと納税やクラウドファンディングを活用し、商品開発等の特色ある教育活動やグローバル人材育成等の取組を支援。 【北海道立学校ふるさと応援事業費、北海道立学校教育活動応援事業】	5,754	継続 (拡充) 新規	
広報機能の強化	本道の魅力発信のため、首都圏など道外への積極的な広報と、地域における発信力の強化に取り組む。 【広報機能強化事業】	14,122	新規	
官民連携の推進	ふるさと寄附金など民間資金の調達や官民連携の取組拡大に向けた事業を実施。 【官民連携推進事業費】	327,094	継続	

(3)北海道らしい関係人口の創出・拡大(愛着・活動)

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
本道への本社機能移転の誘致促進【再掲】	企業と地域の自治体・大学等の連携を促進させ、デジタル関連産業などの開発拠点や本社機能の移転に向けた誘致活動を実施。 【地域連携型拠点誘致推進事業】	7,999	新規	
企業の立地への支援【再掲】	企業立地の促進を図るため、本道に工場・設備等の新設・増設をしようとする事業者を支援する。 【企業立地促進費補助金】	1,521,284	継続	
UIJターンによる新規就業等の促進	移住して就業・起業した者に対し、移住支援金を給付するとともに、市町村が取り組む移住支援窓口の機能強化を支援。 【UIJターン新規就業支援事業】	126,287	継続 (拡充)	・デジタル田園都市国家構想交付金(推進タイプ)
ベトナムとの経済交流の推進	日越外交関係樹立50周年を契機に、ベトナム全土に向けた北海道プロモーション、ビジネス機会創出商談会等を実施。 【ベトナムとの経済交流加速化推進事業】	5,603	新規	
海外からの投資誘致促進【再掲】	本道の優位性のある産業や成長分野を対象に、投資家の招へいやプロモーション、商談支援等により海外投資を全道に誘致。 【海外からの投資誘致促進事業】	22,295	新規	
企業と連携した森林づくりの推進【再掲】	CSR活動等として森林づくりを希望する民間企業等とフィールド提供を希望する市町村等の森林所有者とのマッチングを促進する。 【ほっかいどう企業の森林づくり推進事業】	13,726	継続 (拡充)	
地域おこし協力隊へのサポートの強化【再掲】	地域おこし協力隊サポート推進室を設置し、募集PRの強化や隊員のスキルアップ研修会、起業・就業セミナー開催等のサポートを実施。 【地域おこし協力隊支援パッケージ事業】	25,000	新規	
官民連携による地域振興の推進	総合振興局・振興局が民間事業者等との連携により、地域に根ざした政策を企画・立案・実施。 【地域共創推進事業】	15,381	新規	

5. 「北海道Society 5.0」プロジェクト

近年目覚ましい発展を遂げている情報通信技術等の未来技術は、人口減少を含め課題の先進地であり、広域分散型の地域構造である北海道においてこそ、ピンチをチャンスに変える力を持っている。北海道創生の次のステージに向け、Society 5.0を見据えた取組を進める。

未来技術の活用による施策の効率化・効果の最大化

暮らしの質を高める

- 遠隔医療の充実・遠隔授業の実施
- ロボット技術の活用
- MaaSの展開など交通モード間の連携・補完による持続的な移動手段の確保
- ICTを活用した減災や被災地支援
- 産学官でのデータ活用
- 行政手続きのオンライン化など市町村のデジタル化促進 等

価値と魅力を高める

- テレワークの導入拡大
- スマート農林水産業の展開
- 積雪寒冷に対応した自動運転技術開発促進
- AI、IoTなどを活用した生産性向上や新商品、新事業の創出
- 新たな宇宙ビジネスの創出
- 効果的な獣害対策の実施 等

人づくりの効果を高める

- IoTの普及による知識や情報の共有、新たな価値の創造
- 遠隔カンファレンスによる専門医師の診療支援等による技術向上
- ICTを活用した分かりやすい授業 等

プロジェクト効果の最大化・施策の効率化

人口減少下でも
心豊かに暮らせる地域づくり

1 「心豊かに・北海道暮らし」プロジェクト

多彩な価値・魅力を活かした
しごとづくり

2 「磨き高め輝く・北海道価値」プロジェクト

未来をけん引する
人づくり

3 「未来をけん引・北海道人」プロジェクト

(1)暮らしの質を高める

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
総合的なヒグマ対策の推進	市街地へのヒグマ出没対策のため、AI等を用いた生息密度推定手法の検討・検証やWebコンテンツによるヒグマ生態の普及啓発に取り組む。 【ヒグマ対策推進費】	43,632	継続(拡充)	・デジタル田園都市国家構想交付金(推進タイプ)
マイナンバーカードの普及促進	マイナンバーカードの交付を希望される方々に対してカードの出張申請受付を実施するとともに、事業の実施状況やノウハウを全道の自治体と共有することで、道内全体での更なる普及促進を図る。 【マイナンバーカード普及促進事業】	31,893	新規	
市町村における行政デジタル化の取組の推進	市町村の行政デジタル化の取組が遅滞なく進むよう、アドバイザーの派遣やセミナー等を開催する。 【自治体DX推進事業】	16,124	新規	
スマート道庁の強化	道民サービスの向上や庁内業務の効率化のため、電子契約の導入やICTツールの活用など、スマート道庁の強化に取り組む。 【電子契約導入事業、道庁業務ICT利活用支援事業】	12,357	新規	
道職員におけるデジタル人材の育成	高度なデジタル関連の知識・技術等を活用して道行政に貢献できる北海道職員を育成。 【デジタル人材育成事業】	4,000	新規	

(2)価値と魅力を高める

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
ドローン利活用の可能性調査・検証	「北海道Society5.0」の実現に向けて、ドローンの利活用の可能性を調査・検証し、道民に対して周知を図る。 【北海道ドローン活用実証事業】	22,182	継続	
未来技術のテストフィールドづくり	未来技術の動向や企業の実証ニーズ、道内のテストフィールドの現状を調査し、本道の優位性について情報発信する。 【ほっかいどうテストフィールド推進事業】	10,233	新規	
次世代半導体関連産業の集積促進【再掲】	次世代半導体製造拠点の整備に向けた支援や関連産業等の集積促進に向けた取組を推進する。 【次世代半導体産業集積促進事業】	120,990	新規	
地域企業の先端技術人材確保・育成等支援【再掲】	IoT、ロボティクス等の先端技術を有する人材の確保、育成及び職場定着のため、専門人材の育成研修により地域企業の技術力向上を図る。 【地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業】	48,800	継続	
ICT技術等を活用したコンブの生産体制の検討【再掲】	ドローンによる空撮画像の解析技術の精度向上、低利用コンブ種等の活用に向けたニーズ調査や生産体制の検討等に取り組む。 【ICT技術等を活用したコンブ生産増大対策事業】	9,515	継続(拡充)	・デジタル田園都市国家構想交付金(推進タイプ)
自動運転車開発拠点化促進事業【再掲】	自動運転車の積雪寒冷期を含む実証実験や国の社会実証事業の誘致など道内企業の参入促進や開発拠点の誘致に取り組む。 【自動運転車開発拠点化推進事業】	6,336	継続	
宇宙ビジネスの創出と産業化の促進【再掲】	本道における宇宙関連ビジネスの更なる加速化の観点から、推進体制の整備や人材確保支援を行い、宇宙関連産業の成長産業化を目指す。 【宇宙関連ビジネス加速化プロジェクト推進事業】	6,655	新規	
スタートアップの創出・集積【再掲】	スタートアップ・エコシステムの拡大・強化のため、起業家の育成・伴走支援・誘致・定着の促進などに取り組み、スタートアップの創出・集積を図る。 【スタートアップ創出・集積促進事業】	50,000	新規	
スマート農業技術の導入支援【再掲】	スマート農業技術の導入と全道への普及拡大のため、実証成果や活用事例の情報共有、地域の専門人材の育成、先端技術の導入を支援。 【スマート農業推進事業】	8,141	継続(拡充)	・デジタル田園都市国家構想交付金(推進タイプ)
スマート林業の地域実装の推進【再掲】	森林施業のさらなる効率化のため、スマート林業の技術を活用できる人材の育成や、機器の導入支援、実演会等を実施する。 【スマート林業実装推進事業】	71,160	新規	

(3)人づくりの効果を高める

施策名	事業概要	予算額(千円)	区分	備考
市町村のDX推進に向けた普及啓発	地域のDXを推進するため、民間企業と連携し、市町村職員を主な対象とした普及啓発を実施。 【北海道ミライづくりフォーラム開催費】	4,227	新規	
教育機関におけるICT機器の活用【再掲】	道立学校に対し、機器やアプリ更新などの不具合等の相談対応等により体制整備を図るほか、センター未設置市町村に対しICT活用の体制整備を図る 【GIGAスクール運営支援センター機能強化事業費】	20,519	継続	
遠隔授業の推進【再掲】	遠隔授業の配信機能を集中化した「北海道高等学校遠隔授業配信センター」を開設し、地域連携特例校及び離島の道立高校に対し、多様な教科・科目を配信。 【遠隔授業配信センター運営費】	8,710	継続	

市町村における行政デジタル化の取組の推進【再掲】	市町村の行政デジタル化の取組が遅滞なく進むよう、アドバイザーの派遣やセミナー等を開催する。 【自治体DX推進事業】	16,124	新規	
スマート道庁の強化【再掲】	道民サービスの向上や庁内業務の効率化のため、電子契約の導入やICTツールの活用など、スマート道庁の強化に取り組む。 【電子契約導入事業、道庁業務ICT利活用支援事業】	12,357	新規	
道職員におけるデジタル人材の育成【再掲】	高度なデジタル関連の知識・技術等を活用して道行政に貢献できる北海道職員を育成。 【デジタル人材育成事業】	4,000	新規	